



柿 特報 No.4

R2. 6. 17

J A 中野市営農センター
J A 中野市柿研究会

定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

R2 年度 開花日:5/31 頃 満開日:6/2(平岡)

花のついていない枝(カラ枝)が散見されますので様子を見ながら摘果(結果調整)を行ってください。

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

病害虫防除

◎6月下旬(6月20日～6月28日頃まで)の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	<table border="1"> <tr> <td>散布日</td> <td>6月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>散布量</td> <td></td> <td>ℓ</td> </tr> </table>	散布日	6月	日	散布量		ℓ
	散布日	6月		日					
	散布量			ℓ					
	展着剤	10ml							
オーソサイド水和剤 80	100g	収穫7日前、5回以内							
モスピラン顆粒水溶剤 (劇)	25g	収穫前日、3回以内							
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病 アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、カメムシ類								
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。								
注意事項	① 前年、落葉病が多発した園地は、今回の防除を必ず実施してください。 ② モスピランは劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ③ オーソサイド水和剤80に代えて、スコア顆粒水和剤 3000 倍(前日、3回)でもよい。								

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

次頁もご覧ください。

病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

●7月上中旬の散布(7月5日～7月15日頃)

散布薬剤	水	100ℓ	散布日 7月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10mℓ	
	キノド一颗粒水和剤	100g(収穫14日前まで、5回以内)	
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病		
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する		
注意事項	① カイガラムシ類の発生が多い場合は、【劇】スプラサイド水和剤 1500 倍(30 日前、3 回)を加用する。 ※劇物ですので、購入の際は印鑑をお持ちください。 ② すず点病が発生する園地は、キノド一颗粒水和剤に代えて、ベルコート水和剤 1,500 倍(14 日前、3 回)を加用してください。 ③ 昨年、カキノヘタムシガ(ヘタムシ)が発生した園地(収穫前落果の発生園)では、スミチオン水和剤 40(収穫 45 日前、3 回)の 800 倍を加用してください。		

◆ 柿 栽培管理講習会の開催について

期 日 : 7月 2日(木) 午前10時30分 科野事業所 集合
内 容 : 摘果のポイントについて 防除等、栽培管理について

農作業中の事故にご注意下さい

- ・ハシゴは、チェーンや紐で止め、開かないようにして使用する。
- ・ハシゴの一番上の段に乗って作業は行なわないようにする。
- ・梅雨期は降雨により地盤が緩みます。傾斜地でのハシゴ・SSの走行等に十分注意する。